

～漁業者、卸売業者の連携による旋網漁獲物の付加価値向上～

西日本魚市株式会社（長崎県松浦市）

目詰まりの現状

西日本魚市が卸売業を行っている松浦魚市場では、取扱量のほとんどが旋網漁業によるが、大量漁獲時には極端な価格下落が起こる。逆に旋網は月夜前後には休漁し、時化の時は上場量が極端に減少することから価格が高騰する。不安定な相場は、漁業者はもとよりそれを取り扱う業者にとっても解決したい課題となっている。

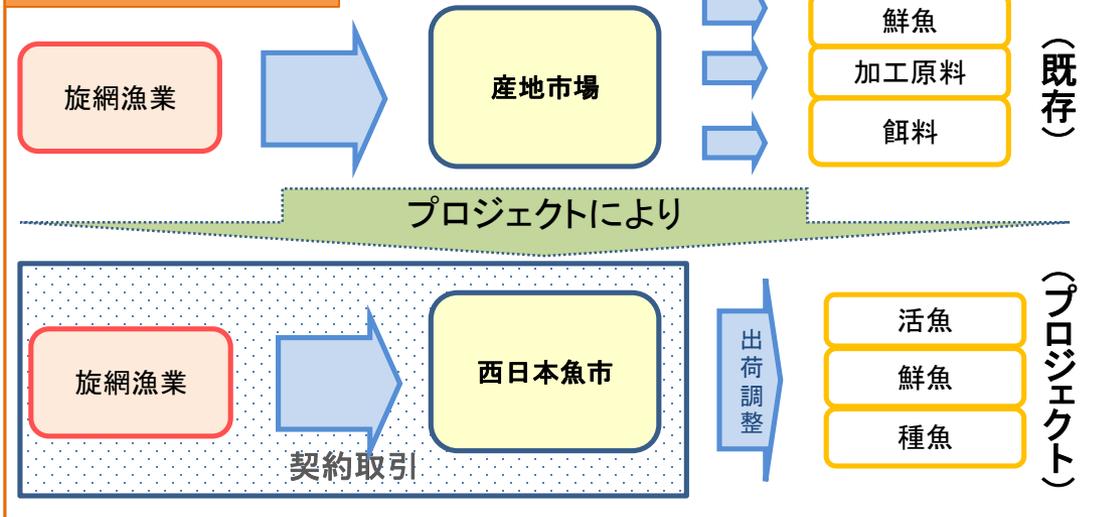
プロジェクトの概要

旋網漁業者と契約を締結し、旋網で漁獲されたアジやサバ、ブリ等を活かした状態で指定港まで運搬し、活魚として出荷したり、休漁や時化時の出荷、養殖魚の幼魚として利用、このために必要な海上生簀や作業船、出荷のための車をプロジェクトで導入した。

取組による成果

- ・ 漁業者手取りの向上
- ・ 出荷調整による売価アップ
- ・ 上場量が減少する中で量販店等への安定供給
- ・ 不安定な種魚の安定供給
⇒活かした状態の魚の確保が課題

プロジェクトフロー



生簀への搬入



導入した生簀



生簀の魚

(平成26年7月現在)